

交付対象事業の名称
大学院大学発展促進事業

担当部署名	企画部
担当課名	科学技術振興課
電話番号 (職場代表)	098-866-2560

実施 計画 No	地方単 独・国庫 補助	所管省 庁	事業始期	事業終期	R2年度 臨時交付金充当額 (千円)	交付対象事業の分類 (項目別)	
						経済・感染症対策分野	左との関係
2	地方単独		令和2年6月	令和3年3月	2,131 千円	1. 感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	①-1-2. 検査体制の強化と感染の早期発見
■事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)						■実施主体 (沖縄県、市町村、民間団体等)	
①新型コロナウイルス感染拡大防止 ②委託料 ③抗体検査539円/件×2,689件=1,449,371円 検体輸送682,000円/一式=682,000円 合計=2,131千円 ④沖縄科学技術大学院大学、株式会社セルート						・沖縄県	
■事業実績・事業効果							
【事業実績】 ・沖縄科学技術大学院大学において、沖縄県内の県立病院等の医療機関で採取した検体について、県内の各圏域において、一回目392件、二回目1,592件、三回目705件、合計2,689件の抗体検査を実施した。							
【成果 (効果)】 ・県内の各圏域において抗体検査を実施することにより、県民の新型コロナウイルスに対する免疫状況の全体像を把握し、県が行う新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じるための参考情報のひとつとして活用した。							
■当該事業に対する効果検証の方法 (関係団体アンケート、ヒアリング)							
【関係団体】 ・沖縄県保健医療部							
【アンケート数 (ヒアリング数)】 ・ヒアリング数：1							
【公表 (取りまとめ) 時期】 ・令和3年度末、URL： https://www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/kagaku/index.html							
■当該事業に対する関係団体からの意見・評価 (県民からの意見を含む)							
【意見・評価】 ・県が行う新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じるための参考情報のひとつとして活用した。							
【課題】 ・一定程度の検査数を確保することができたことから、課題はないものと考えている。							
■事業に対する改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点より)							
・献血など、病院以外での献体採取により、さらに多くの検体数を確保できた可能性がある。							

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る効果検証（R2年度実績）

交付対象事業の名称
那覇空港サーモグラフィー設置監視事業①

担当部局名	企画部
担当課名	交通政策課
電話番号 (職場代表)	098-866-2045

実施計画 No	地方単独・国庫補助	所管省庁	事業始期	事業終期	R2年度臨時交付金充当額 (千円)	交付対象事業の分類（項目別）	
						経済・感染症対策分野	左との関係
3	地方単独	-	令和2年4月	令和2年6月	19782 千円	1. 感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	①-1-2. 検査体制の強化と感染の早期発見
■事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）						■実施主体（沖縄県、市町村、民間団体等）	
①那覇空港国内線において、サーモグラフィーによる体温確認を実施し、発熱感知者に対して注意喚起及び任意で健康観察を行うことで県内における感染拡大防止を図る。 ②委託料、備品購入費 ③委託料 17,241千円 (内訳) ・人件費：14,681千円(2,500円×5人×14.5h×81日) ・諸経費：直接物品費 147千円、 一般管理費 846千円、 消費税 1,567千円 備品購入費 2,541千円 (内訳) ・備品：2,541千円 (1,271千円×2台) ④那覇空港国内線旅客ターミナル						<pre> graph TD A[沖縄県企画部] -- 委託 --> B[那覇空港ビルディング株式会社] B -- "サーモ監視、チラン配布" --> C[発熱のある入域客] </pre>	
■事業実績・事業効果							
【事業実績】 ①サーモグラフィー設置カ所数：7カ所 (内訳) ・到着口：2カ所 ・保安検査場前（出発口）：3カ所 ②サーモグラフィー設置開始日 ・到着口：4/9、 ・保安検査場A前：4/25 ・保安検査場B前：5/3 ・保安検査場C前：6/19 【成果（効果）】 サーモグラフィーによる発熱感知者数 ・到着口：609名（4/11～3/31） ・保安検査場前：17名（4/28～3/31）							
■当該事業に対する効果検証の方法（関係団体アンケート、ヒアリング）							
【関係団体】 ・アンケート調査対象：2020年9月～12月に沖縄に旅行目的で訪れた人と同時期に沖縄へ旅行する意向があったが、実施に至らなかった人 【アンケート数（ヒアリング数）】 ・400サンプル 【公表（取りまとめ）時期】 ・令和3年3月							
■当該事業に対する関係団体からの意見・評価（県民からの意見を含む）							
【意見・評価】 ・空港でのサーモグラフィー検査の認知度は高く、96%近くがサーモグラフィー検査によって安心感を感じている。 ・空港でのサーモグラフィー検査について、任意であっても協力したい76.3%、呼びかけがあれば協力したい20.8%と、協力姿勢は高い。							
■事業に対する改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点より）							
・サーモグラフィー設置監視業務の効果（安心感・注意喚起等）を維持しつつ、より省人化等によるコスト縮減を検討する必要がある。							

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る効果検証（R2年度実績）

交付対象事業の名称
那覇空港サーモグラフィー設置監視事業②

担当部局名	企画部
担当課名	交通政策課
電話番号 (職場代表)	098-866-2045

実施計画No	地方単独・国庫補助	所管省庁	事業始期	事業終期	R2年度臨時交付金充当額(千円)	交付対象事業の分類(項目別)	
						経済・感染症対策分野	左との関係
4	地方単独	—	令和2年5月	令和2年10月	26638 千円	1. 感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	①-1-2. 検査体制の強化と感染の早期発見
■事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)						■実施主体(沖縄県、市町村、民間団体等)	
①那覇空港国内線において、サーモグラフィーによる体温確認を実施し、発熱感知者に対して注意喚起及び任意で健康観察を行うことで県内における感染拡大防止を図る。 ②委託料 ③委託料 26,638千円 (内訳) ・人件費: 23,063千円(2,500円×5人×15h×123日) ・諸経費: 一般管理費 1,153千円、消費税 2,422千円 ④那覇空港国内線旅客ターミナル						<pre> graph TD A[沖縄県企画部] -- 委託 --> B[那覇空港ビルディング株式会社] B -- "サーモ監視、チラン配布" --> C[発熱のある入域客] </pre>	
■事業実績・事業効果							
【事業実績】 ①サーモグラフィー設置カ所数: 7カ所 (内訳) ・到着口: 4カ所 ※8月から2カ所→4カ所に拡充 ・保安検査場前(出発口): 3カ所 ②サーモグラフィー設置開始日 ・到着口: 4/9、 ・保安検査場A前: 4/25 ・保安検査場B前: 5/3 ・保安検査場C前: 6/19 【成果(効果)】 サーモグラフィーによる発熱感知者数 ・到着口: 609名(4/11~3/31) ・保安検査場前: 17名(4/28~3/31)							
■当該事業に対する効果検証の方法(関係団体アンケート、ヒアリング)							
【関係団体】 ・アンケート調査対象: 2020年9月~12月に沖縄に旅行目的で訪れた人と同時期に沖縄へ旅行する意向があったが、実施に至らなかった人 【アンケート数(ヒアリング数)】 ・400サンプル 【公表(取りまとめ)時期】 ・令和3年3月							
■当該事業に対する関係団体からの意見・評価(県民からの意見を含む)							
【意見・評価】 ・空港でのサーモグラフィー検査の認知度は高く、96%近くがサーモグラフィー検査によって安心感を感じている。 ・空港でのサーモグラフィー検査について、任意であっても協力したい76.3%、呼びかけがあれば協力したい20.8%と、協力姿勢は高い。							
■事業に対する改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点より) ・サーモグラフィー設置監視業務の効果(安心感・注意喚起等)を維持しつつ、より省人化等によるコスト縮減を検討する必要がある。							

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る効果検証（R2年度実績）

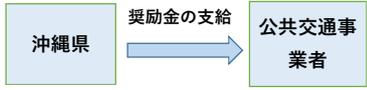
交付対象事業の名称
那覇空港サーモグラフィ設置監視事業③

担当部署名	企画部
担当課名	交通政策課
電話番号 (職場代表)	098-866-2045

実施 計画 No	地方単 独・国庫 補助	所管省 庁	事業始期	事業終期	R2年度 臨時交付金充当額 (千円)	交付対象事業の分類 (項目別)	
						経済・感染症対策分野	左との関係
5	地方単独	-	令和2年8月	令和2年10月	42683 千円	1. 感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	①-1-2. 検査体制の強化と感染の早期発見
■事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)						■実施主体 (沖縄県、市町村、民間団体等)	
①那覇空港国内線において、サーモグラフィによる体温確認を実施し、発熱感知者に対して注意喚起及び任意で健康観察を行うことで県内における感染拡大防止を図る。 ②委託料、備品購入費 ③委託料 38,228千円 (内訳) ・人件費：(1)13,800千円(2,500円×4人×15h×92日) (2)5,290千円(2,500円×2人×11.5h×92日) (3)5,750千円(2,500円×2人×12.5h×92日) (4)5,750千円(2,500円×2人×12.5h×92日) (5)570千円(2,500円×2人×9.5h×12日) (6)1,938千円(2,500円×2人×12.5h×31日) 計 33,098千円 ・諸経費：一般管理費 1,655千円、 消費税 3,475千円 備品購入費 4,455千円 (内訳) ・備品：4,455千円 (891千円×5台) ④那覇空港国内線旅客ターミナル						<pre> graph TD A[沖縄県企画部] -- 委託 --> B[那覇空港ビルディング株式会社] B -- ②連絡先等の情報提供 --> C[熱感知された入域客] C -- ①サーモ監視、チラシ配布、情報提供依頼 --> B B -- ③情報共有 --> D[沖縄県コロナ対策本部 (保健医療部)] D -- ④健康観察 --> C </pre>	
■事業実績・事業効果 【事業実績】 ①サーモグラフィ設置カ所数：7カ所 (内訳) ・到着口：4カ所 ※8月から2カ所→4カ所に拡充 ・保安検査場前 (出発口)：3カ所 ②サーモグラフィ設置開始日 ・到着口：4/9、 ・保安検査場A前：4/25 ・保安検査場B前：5/3 ・保安検査場C前：6/19 【成果 (効果)】 サーモグラフィによる発熱感知者数 ・到着口：609名 (4/11～3/31) ・保安検査場前：17名 (4/28～3/31)							
■当該事業に対する効果検証の方法 (関係団体アンケート、ヒアリング) 【関係団体】 ・アンケート調査対象：2020年9月～12月に沖縄に旅行目的で訪れた人と同時期に沖縄へ旅行する意向があったが、実施に至らなかった人 【アンケート数 (ヒアリング数)】 ・400サンプル 【公表 (取りまとめ) 時期】 ・令和3年3月							
■当該事業に対する関係団体からの意見・評価 (県民からの意見を含む) 【意見・評価】 ・空港でのサーモグラフィ検査の認知度は高く、96%近くがサーモグラフィ検査によって安心感を感じている。 ・空港でのサーモグラフィ検査について、任意であっても協力したい76.3%、呼びかけがあれば協力したい20.8%と、協力姿勢は高い。							
■事業に対する改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点より) ・サーモグラフィ設置監視業務の効果 (安心感・注意喚起等) を維持しつつ、より省人化等によるコスト削減を検討する必要がある。							

交付対象事業の名称
沖縄県公共交通安全・安心確保支援事業

担当部局名	企画部
担当課名	交通政策課
電話番号 (職場代表)	098-866-2045

実施 計画 No	地方単 独・国庫 補助	所管省 庁	事業始期	事業終期	R2年度 臨時交付金充当額 (千円)	交付対象事業の分類 (項目別)	
						経済・感染症対策分野	左との関係
6	地方単独	-	令和2年6月	令和2年10月	206,100 千円	II. 雇用の維持と事業の継続	①-II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援
■事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)						■実施主体 (沖縄県、市町村、民間団体等)	
①公共交通事業者に対し、ガイドライン作成・遵守等により持続的な感染防止対策を実施するための奨励金を支給する。 ②感染症防止対策の定着促進を支援するための奨励金 ③乗合バス事業者 5万円/台、法人タクシー事業者 4万円/台 法人タクシー事業者(福祉車両) 1万円/台、離島空路事業者 140万円/機 離島航路事業者 10万円~160万円/者 ④公共交通事業者						・沖縄県 	
■事業実績・事業効果							
【事業実績】 ・乗合バス事業者 21者に対し4,115万円、法人タクシー事業者138者に対し1億4,845万円、離島航路事業者17者に対し950万円、離島空路事業者1者に対し700万円の奨励金を支給した。 【成果 (効果)】 ・アンケート結果によると、全ての事業者において感染防止対策を現時点でも行っており、また、アンケートに回答した全ての事業者が、現在行っている感染防止対策を講じる上で本奨励金が「役に立った」又は「支援が無いよりは良かった」と回答していることから、本奨励金は感染防止対策の定着促進に寄与したものと評価できる。 (参考: 主な感染対策) ・乗務員のマスク着用 (100%)、座席等の消毒 (97.6%)、車内の換気 (95.9%)、乗務前の検温 (91.1%) ※カッコ内は回答した割合							
■当該事業に対する効果検証の方法 (関係団体アンケート、ヒアリング)							
【関係団体】 ・奨励金を受給した公共交通事業者 【アンケート数】 ・令和4年1月に奨励金を受給した全ての事業者 (171者) へアンケートを実施 回答数 123者 (回収率72%) <質問項目> ①現在、感染防止対策として取り組んでいることは何か。 ②本奨励金は上記①の感染防止対策の定着を図るための支援として役に立ったか。 ③奨励金の支給に関しての要望や改善点について ④持続的な感染防止対策を講じる上で、現在、課題となっていることは何か。							
■当該事業に対する関係団体からの意見・評価 (県民からの意見を含む)							
【意見・評価】 ・76.4%の事業者が本奨励金が感染防止対策の定着促進のための支援として「役に立った」と回答し、23.6%の事業者が「支援が無いよりは良かった」と回答。「役に立たなかった」との回答は0%であった。 【課題】 ・アンケート結果によると、持続的な感染防止対策を講じる上で、89.4%の事業者が「資金の捻出」を課題として挙げている。 ・また、69.9%の事業者が「乗務員の負担軽減」を課題として挙げていることに加え、利用者 (特に夜間の) がマスクを付けないので困っているとの回答もあることから、利用者側の感染対策を徹底することも課題となっていることが浮き彫りになった。							
■事業に対する改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点より) ・アンケート結果によると、奨励金の支給に関する要望・改善点として、82.1%の事業者が「支給額を大きくして欲しい」、78.9%の事業者が「複数回支援して欲しい」と回答しており、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経営環境におかれている公共交通事業者が今後も継続的に感染防止対策を講じていく上では、経営状況に応じた継続的な支援を行っていく必要があると考えられる。(なお、令和3年度においては、公共交通の運行継続を支援するための支援金を支給額を増額した上で2度支給している)							

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る効果検証（R2年度実績）

交付対象事業の名称
那覇空港サーモグラフィー設置監視事業④

担当部局名	企画部
担当課名	交通政策課
電話番号 (職場代表)	098-866-2045

実施計画No	地方単独・国庫補助	所管省庁	事業始期	事業終期	R2年度臨時交付金充当額(千円)	交付対象事業の分類(項目別)	
						経済・感染症対策分野	左との関係
37	地方単独	-	令和2年11月	令和3年3月	90691 千円	1. 感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発	①-1-2. 検査体制の強化と感染の早期発見

■事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	■実施主体(沖縄県、市町村、民間団体等)
--	-----------------------------

①那覇空港国内線において、サーモグラフィーによる体温確認を実施し、発熱感知者に対して注意喚起及び任意で健康観察を行うことで県内における感染拡大防止を図る。 ②委託料 ③委託料 90,691千円 (内訳) ・人件費：(1)50,963千円(2,500円×9人×15h×151日) (2)8,683千円(2,500円×2人×11.5h×151日) (3)9,437千円(2,500円×2人×12.5h×151日) (4)9,437千円(2,500円×2人×12.5h×151日) 計 78,520千円 ・諸経費：一般管理費 3,926千円、消費税 8,245千円 ④那覇空港国内線旅客ターミナル	<pre> graph TD A[沖縄県企画部] -- 委託 --> B[那覇空港ビルディング株式会社] B -- ①サーモ監視、チラン配布 --> C[熱感知された入域客] D[旅行者専用相談センター(TACO)] -- ②連絡 --> B E[③問診等を踏まえ、必要に応じて、PCR検査に繋ぐ] --> C </pre>
---	--

■事業実績・事業効果

【事業実績】 ①サーモグラフィー設置カ所数：7カ所 (内訳) ・到着口：4カ所 ・保安検査場前(出発口)：3カ所 ②サーモグラフィー設置開始日 ・到着口：4/9、 ・保安検査場A前：4/25 ・保安検査場B前：5/3 ・保安検査場C前：6/19 【成果(効果)】 サーモグラフィーによる発熱感知者数 ・到着口：609名(4/11~3/31) ・保安検査場前：17名(4/28~3/31)

■当該事業に対する効果検証の方法(関係団体アンケート、ヒアリング)

【関係団体】 ・アンケート調査対象：2020年9月~12月に沖縄に旅行目的で訪れた人と同時期に沖縄へ旅行する意向があったが、実施に至らなかった人 【アンケート数(ヒアリング数)】 ・400サンプル 【公表(取りまとめ)時期】 ・令和3年3月
--

■当該事業に対する関係団体からの意見・評価(県民からの意見を含む)

【意見・評価】 ・空港でのサーモグラフィー検査の認知度は高く、96%近くがサーモグラフィー検査によって安心感を感じている。 ・空港でのサーモグラフィー検査について、任意であっても協力したい76.3%、呼びかけがあれば協力したい20.8%と、協力姿勢は高い。

■事業に対する改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点より)

・サーモグラフィー設置監視業務の効果(安心感・注意喚起等)を維持しつつ、より省人化等によるコスト縮減を検討する必要がある。
